

奥会津－柳津の PR－

A2201309 櫻井 亜衣 A2201310 笹川 莉菜

A2201316 積田 はる菜 A2201324 山崎 さくら

E1201401 渡辺 レイス ルカ E1201402 菱花 サチ ナンシー

研究の背景

東日本大震災後、福島県は長引く風評被害に苦しめられている。その風評被害を打開する対策のひとつとして福島県の安心と安全、及び魅力を県外へ伝え続けていくことが必要とされている現状がある。そのような折、市内に奥会津中山間地域の魅力を発信するアンテナショップ「河内屋」がオープンし、オーナーより学生が表現の場として自由に使って良いという環境の提供をして頂いた。また東京にある拓殖大学デザイン研究室より福島県に何かデザインで地域貢献したいと言う要請を頂いた。さらに今年度は会津短大でグラフィックデザインを学びながら、県内の歴史や文化に触れる趣旨でブラジルからの県費留学生も来日している。

現在の福島が置かれている状況と上述のような経緯から、新たな会津の魅力の発見とその発信を試みることになり、取材を通して柳津町役場の地域振興課観光商工班からも柳津の PR をしたいとの話を頂き、奥会津の入り口である柳津を中心として PR することで、ひいては奥会津全体の PR に繋げていく経緯となった。

研究の目的

アンテナショップ「河内屋」をメイン会場として、拓殖大学の学生、ブラジルからの県費留学生、そしてグラフィックゼミの短大生が交流・連携協力し、様々な視点、特に長い先を見据えた若者による視点で福島県会津地方の(特に奥会津の入り口である柳津)の魅力を再発見し、主にデザインの力で県外へ発信すること。さらに、柳津町役場の地域振興課観光商工班の方々と連携し、取材を通して柳津を PR するツールを制作し、柳津の魅力を伝える。

研究のプロセス

月日	事項
2014	
5/21	奥会津地域取材開始(柳津町・三島町・金山町・昭和村)
8/5	プレ中間発表会
9/中旬	福島ふるさと CM 大賞エントリー
9/22～23	拓殖大学生との合同合宿 in 柳津
10/24	中間発表
11/23	福島ふるさと CM 大賞審査会
12/3	河内屋での赤べこ展示(拓殖大生制作)
2015	
1/13	パンフレット 完成
1/上旬	赤べこハンドブック デザイン提案 映画「かむろば村～ジヌよさらば～」のロケ地マップ デザイン提案
1/22	パンフレットを柳津町で配布開始

成果物

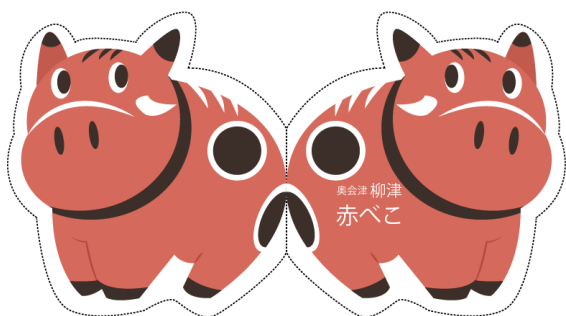
■やないづ小旅帳

現地取材を通して撮影した写真を用い、柳津の魅力を様々な点から紹介するA5サイズで20pのパンフレットを制作した。1000部印刷し、その中から柳津町で配布予定。



■赤べこハンドブック

世間での赤べこの認知度、及びその発祥地としての柳津をPRするため赤べこの情報に特化した手軽なハンドブックを制作した。他のハンドブックやパンフレットと差別化を図り、観光客などに手に取ってもらうためにもハンドブック形自体を赤べこにするなどの工夫をし、赤べこの生まれた由来などを紹介した。



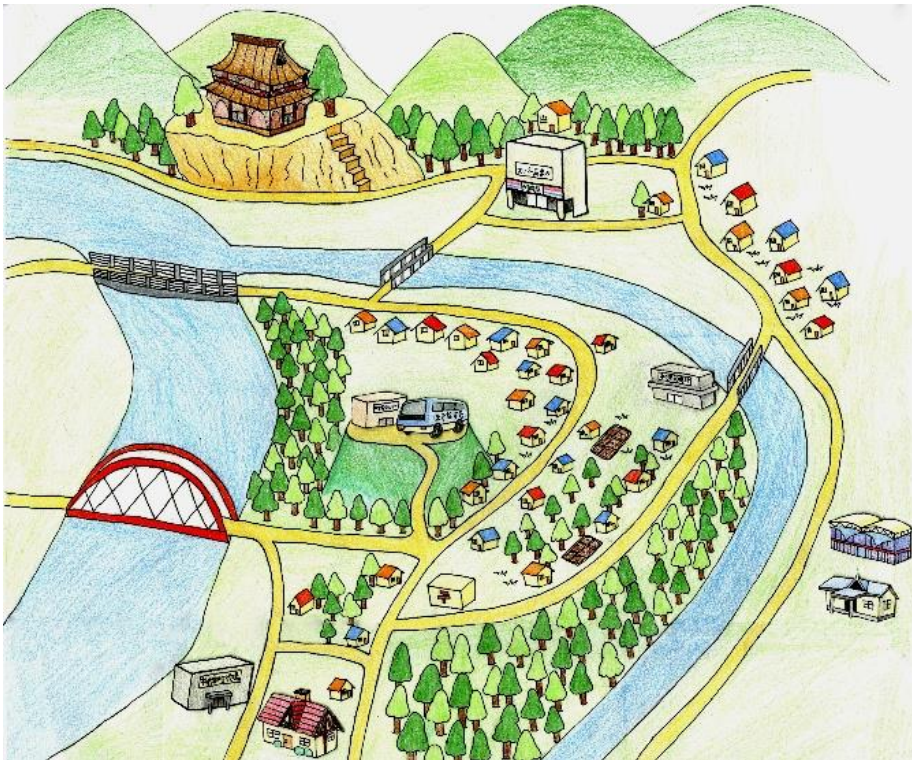
■夏のゼミ作品展「AIZU-JIN」や、河内屋での展示

「AIZU-JIN」というテーマの下、2014年9月に開催されたグラフィックゼミ作品展で、会津をテーマにした作品を数多く展示した。その中には拓殖大の学生が制作したオリジナル赤べこも展示された。また、来場者に奥会津についてのアンケート調査に答えていただき、奥会津についてのイメージなどのデータを収集した。

その後作品で展示された拓殖大生制作の赤べこを、奥会津のアンテナショップ「河内屋」にて展示した。

映画「かむろば村～ジヌよさらば～」のロケ地マップ

柳津をロケ地として使用し、2015年4月4日公開予定の映画「かむろば村～ジヌよさらば～」のロケ地マップを制作した。有名俳優が数多く出演し、全国放映される予定のこの映画を切り口とし、今まで柳津に興味のなかった若い世代に柳津をアプローチする狙い。



柳津のイラストマップ

考察

今回の研究では柳津を中心として取材・調査を行ったが、留学生や他県の大学生との交流を通し、様々な観点からの魅力の発見とその発信の仕方を見つけることが出来た。また、柳津を実際に何度も訪れることによって、実際にその土地の魅力を生で感じ、各ツールのデザインに生かせるインスピレーションを感じる事が出来た。

各ツールについては、調査結果を参考にアプローチの仕方やターゲットを考え、デザインに反映し、情報の盛り込み方やビジュアルの魅せ方に工夫をして制作に臨んだ。

今回の研究を通して、デザインの力でより柳津の魅力が多くの人に伝わることを願う。